



学校だより

令和6年度 2月号

令和7年 1月 31日発行

東京都立足立特別支援学校長

鈴木 常 義

〒121-0061 東京都足立区花畑 7-23-15

電話 03-3850-6066 (代表)

文化祭（足立フェスタ）

文化祭担当 吉田 祥子

文化祭が1月25日（土）に行われました。当日は、保護者、地域の皆様、卒業生などたくさんの方々に御来校いただき、大盛況の中、生徒たちが学習の成果を発表できたことを心より感謝申し上げます。

舞台発表は普通科2年生の『鬼滅の刃エピソード0』からスタート。大ヒットアニメ「鬼滅の刃」と、時代劇「暴れん坊将軍」を組み合わせたストーリーで、剣を使った戦闘シーンや華やかなダンスなどを盛り込んだ、躍動感のある舞台となりました。背景や小道具など細かな演出も生徒たちの演技を引き立たせていました。

普通科1年生の演目は、『足立鉄道の旅～自分らしさを探して～』。「スポーツの星」や「音楽の星」などの様々な星へ、主人公が自分らしさを探しながら旅をする完全オリジナルストーリー。生徒一人一人の好きなものや得意なことを基に制作されていて、それぞれの個性が光る舞台でした。

普通科3年生の演目は、『未来への道しるべ～君たちはどう生きるか～』。ジブリの名作「千と千尋の神隠し」をアレンジしたオリジナルストーリーで、主人公たちが自分に合った進路を見つけて行く内容は卒業を控えた3年生ならではのでした。最後の全員合唱では、生徒たちが生き生きと歌唱しており感動のエンディングとなりました。また、カーテンコールでは「さすが最高学年！」という堂々とした姿に、会場は拍手喝采でした。

午前中の最後は、芸能部。今年度は全員でのダンスで会場を盛り上げました。可愛さあふれる『初心LOVE』と、キレのある動きが目を引く『唱』というテイストの違う2曲で、観客を魅了しました。それぞれの生徒が全力で踊り切り、達成感と自信に満ちた表情が印象的でした。

午後は職能開発科。演目は『泣いた赤鬼～Crying Red Ogre & Laughing Blue Ogre～』。有名な濱田広助（はまだひろすけ）の童話をアレンジしたストーリーで、友達の心情を考え、相手の身になって行動したり接したりすることの大切さに、改めて気付かされました。3年生中心の劇仕立てと、1・2年生の合奏、全員での歌唱と、どの場面を切り取っても圧巻のステージでした。

今年度の文化祭のスローガンは、「笑顔あふれる みんなで創る最高の瞬間 ～文化祭輝け夢の舞台～」でした。このスローガンは、開閉会式の進行を立派に務めてくれた職能開発科と普通科の生徒会の皆さんが考えてくれました。掲げたスローガンのとおり、どの学年・学科も笑顔があふれ、生徒一人一人が輝くことができる最高の時間となりました。